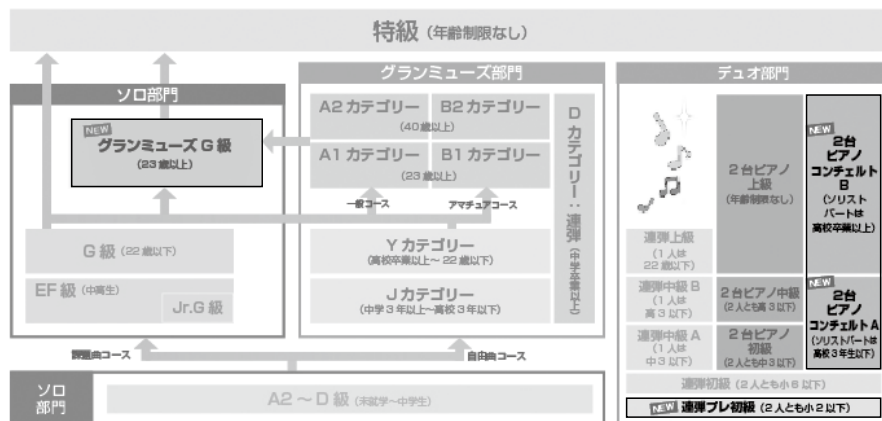


2015 年度、コンペティションが変わります!

2015 年度、ソロ部門にグランミュージズ G 級、デュオ部門に 2 台ピアノコンチェルト A・B と連弾プレ初級を創設します。また、連弾各級では名称と参加資格を再編し、演奏検定のみでの参加も受け付けます。

<級・カテゴリー構成図>



*ソロ部門 Jr.G 級、デュオ部門 2 台ピアノ各級は隔年開催。2015 年度は 2 台ピアノ各級を開催。

コンクール事業

デュオ部門で効果的に演奏力向上

江崎 光世先生 (理事、コンペ課題曲選定委員長)



ピティナ・ピアノコンペティションでは、連弾を毎年、2台ピアノを隔年で実施し、ソロにもアンサンブルにも多角的にチャ

レンジできる仕組みとなっています。2015 年度はデュオ部門を再編し、より幅広い演奏の機会を提供できるようになりました。ソロだけ、デュオだけでなくさまざまな経験を積むことが演奏力を高めることに繋がりますので、演奏の可能性を広げ、末永く音楽を楽しむための一助としてご活用ください。

連弾プレ初級は、近年の幼児教育の発達、受験の早期化を受けて創設いたしました。ピアノを3歳半～4歳くらいから始める方も多くなっているこの時代、比較的時間が取れる小さいうちは、お稽古事に時間を使えるチャンスです。とはいえ、小さいうちは自分の音を集中して聴くことが難しいものです。そういう時期には、音も呼吸も、連弾で互いに相手を意識して

相手の音と呼吸に合わせるほうが、自分の音や音楽の楽しみ方を意識しやすくなります。

2 台ピアノには、体験しないと分からない難しさがあり、また体験しないと学べないこともたくさんあります。たとえば、相手のすぐ隣で弾く連弾と比べて、2 台ピアノでは呼吸や音を合わせるのが難しくなります。けれど、先に連弾を通して呼吸や音楽観を身に付けた方なら、2 台ピアノで一人 1 台ずつの空間の使い方を学び、オーケストラのようにスケールの大きな演奏を体験できることでしょう。そして、2 台ピアノで音楽の広がりや学んだ方は、ソロでも連弾でも、他楽器とのアンサンブルでも、広がりのある演奏をイメージしやすくなるでしょう。また、2015 年度に新設いたします 2 台ピアノコンチェルトの категорияでは、オーケストラのような響きの作り方をより効果的に学ぶことができます。ぜひチャレンジを!!



■ソロ部門

グランミューズG級 創設

ソロ部門にグランミューズG級を創設します。ソロ部門とグランミューズ部門が融合したこの級では、将来的に特級への挑戦を目指す方、さらにも上を目指すグランミューズのハイアマチュアの方、現役の指導者として活躍されている先生方など、幅広い層からのチャレンジをお待ちしています。(第二回の実施は2017年の予定)

なお、グランミューズG級が23歳以上を対象とすることを受けて、G級の年齢制限を、2014年度の24歳以下から、22歳以下に変更しました。ご確認のうえお申し込みください。

■デュオ部門

連弾プレ初級創設

2014年度までの連弾初級Aより若い、2人とも小学2年生以下のペアを対象とする連弾プレ初級を創設します。早くから連弾を体験させたいという方にも、まっずはお友達と一緒にコンペを楽しませたいという方にもお勧めの級です。ソロ部門A2級と同様に地区本選をファイナルとし、地区本選で優秀な成績を収めた方には入賞者記念コンサートへ出演する機会があります。また、これに伴って連弾各級の名称と資格を再編しました。

【課題曲について】

連弾プレ初級では、導入用の易しい曲が選ばれています。ペアの年長者が引っ張ってあげれば楽しむことができるでしょう。旋律パートだけを弾きながらの方もいますが、伴奏パートを弾くことも勉強になります。ピアノは左側のほうが音が出ますから、幅広いパートを学ぶことでバランスの取り方が身に着きます。ぜひ、さまざまなパートにチャレンジしてみてください。

<連弾各級の名称と参加資格>

級名	参加資格
連弾プレ初級	2人とも小2以下
連弾初級	2人とも小6以下
連弾中級A	1人は中3以下
連弾中級B	1人は高3以下
連弾上級	1人は22歳以下

<参加区分による違い>

演奏検定

合否判定あり、本選への進出なし、参加地区の制限なし、学年による参加資格の制限なし

コンペティション

本選への進出あり、2地区まで参加可能、学年による参加制限あり

※「コンペティション」で参加すると、同時に「演奏検定」にも参加した扱いになり、合格点に達していれば合格証書が発行されます。

2014年度までソロ部門A2～F級のみで行っていた演奏検定を、デュオ部門連弾各級でも実施します。演奏検定として参加する場合は参加資格・参加地区数に制限がないため、親子や師弟のペアでの参加、地区本選のリハーサルなど、活用の幅が広がります。また、これに伴い「検定合格証書」「検定優秀賞」を連弾各級でも発行します。

2台ピアノ

コンチェルトA・B創設

2台ピアノでは初級～上級に加えて、2台ピアノコンチェルトのカテゴリを創設します。バッハ、ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェンなどオーソドックスな協奏曲を課題とするAコースと、自由選曲のBコースをご用意しました。

2台ピアノ参加資格

2台ピアノ初級	2人とも中学3年生以下
2台ピアノ中級	2人とも高校3年生以下
2台ピアノ上級	年齢制限なし
2台ピアノコンチェルトA	ソリストパートは高校3年生以下
2台ピアノコンチェルトB	ソリストパートは高校卒業以上

【課題曲について】

2台ピアノ初級～上級では、連弾よりさらに広い音域を使うことで得られる豊かな響きや、二人の対話フレーズなど、立体的な音楽を作れる曲が選ばれています。新設される2台ピアノコンチェルトAでは、出発点としてオーソドックスな曲が選ばれています。本来の伴奏楽器がオーケストラであることを意識し、オーケストラパートの音色からヒントを得て対話を楽しんでいただけると、良い体験になることでしょう。